



8 においの地図づくり

匂いの環境、ということに関心を払ったことがあるでしょうか？私たちのまわりにどんな匂いがあるのか、全体的に把握することは稀でしょう。植木、土、木の皮、空気、辺りの食堂からの匂いなどなど、環境にはさまざまな匂いが漂っています。匂いでコミュニケーションをとっている動物たちは、どんなふうに匂い環境を認識しているのでしょうか。



ねらい

自分のまわりで嗅ぐことのできる匂いついて興味を持つようになる。周辺の匂い環境について関心を持つようになる。

達成目標

- ・周辺にどんな匂いがあるのか、説明できるようになる。
- ・環境によって、匂いの種類が違うことを、事例を出しながら説明できるようになる。



導入

「同じ匂いをみつけよう」のプログラムは、この活動の導入として適当です。これからでかける場所（森、学校、家、公園）にどんな匂いがあるか、予想（想像）してみよう。

導入的	校庭
本体的	学校の近く
まとめ的	公園

展開

その場所にでかけ、簡単な地図を作り、嗅ぐことでの匂いを地図の上に書き込む。いろいろな場所の匂いを積極的に嗅いでみよう。環境を分担して、手分けして調べてもよい。



まとめ

みんなで調べた結果を、大きな紙（模造紙など）にとりまとめ、その場所の匂い環境について話し合ってみよう。どんな所からどんな匂いがしましたか、匂いが届く範囲は？

実施のポイント

匂いの客観的表现はなかなか難しいもの。地図の上に書き込むときの工夫（どういうふうに表現するか）に創造性・想像力をいかそう。



◆所要時間	2時間
◆人 数	30人
◆関連科目	理科、社会、家庭科
◆焦点を当てる能力	嗅ぐ、記録する、比較する 考える、創造性を発揮する 想像する
◆準備するもの	地図を描く用紙 クリップボード、筆記用具

評価の視点

匂い環境について、新しい発見があったか。匂い環境についての自分の意見がもてるか。

発展・応用

森の中、森のふち、森の外、学校、家の近くなどいろいろ比べてみよう。

参考文献

オリジナル／「自然教育研究センタープログラム」



8 においの地図づくり

1. この用紙に地図（道）を書きましょう。（パンフレットなどの地図を写してもいいよ）
2. 歩きながら道ぞいの目立つものを書きこみましょう。（大きな木・休憩所・広場など）
3. においを探しながら歩いてみましょう。においそうなものに近づいてみましょう。
(どこからにおうかな。どの範囲においがとどくかな)
4. においを地図に書きこみましょう。
(書きこみ方は、線や波線みたいな模様でも、言葉でも、似ているにおいを書いてもいいよ)
5. 最後に他の人と交換して、他の人はどんなにおいをみつけたのかを見せあいましょう。

年 月 日 天気 場所 名前